

2017.3.21  
東京新聞

# ペーパージオラマグランプリ 「Nゲージ」大賞に青稜中学高校



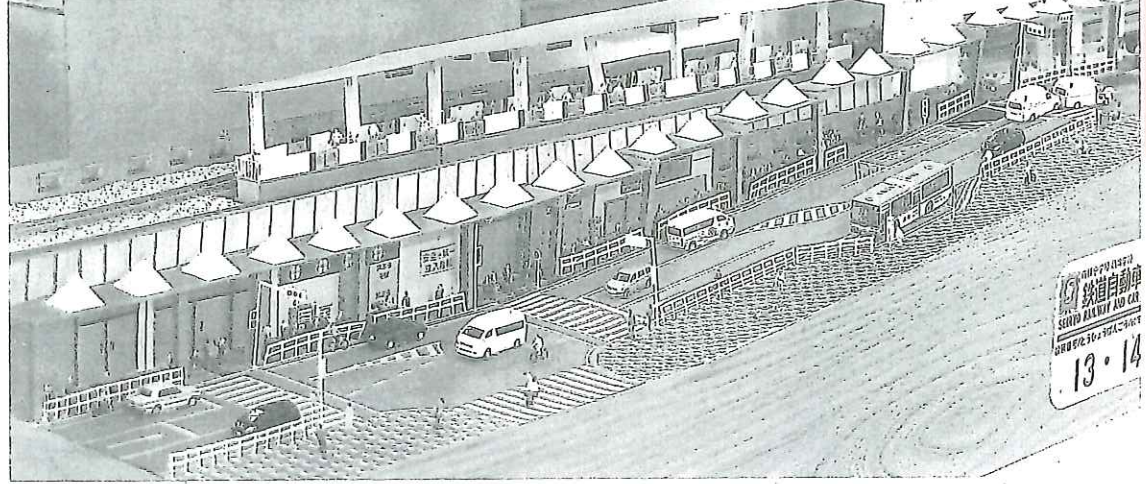
大賞作品を背に喜びを語る青稜中学高校鉄道自動車部の斎藤源輝部長（左）ら一品川区で

「聖地」品川で全国初開催

JR東海の新幹線基地があることから、鉄道ファン  
の聖地とされる品川区八潮  
で二十日、全国初のペーパ  
ージオラマグランプリが開  
催された。Nゲージ部門で  
地元青稜中学高校鉄道自  
動車部が大賞に輝いた。区

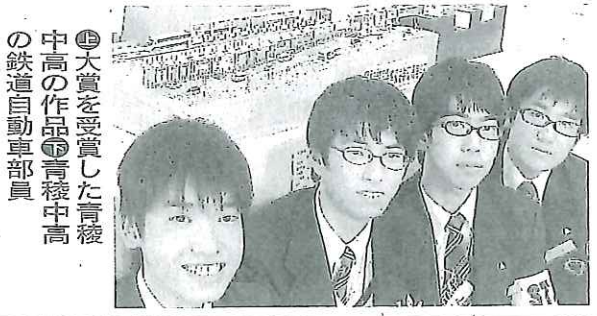
立八潮児童センター主催。  
鉄道模型の背景をできる  
だけ紙を使って表現するの  
がペーパージオラマ。出来  
栄えに加え、紙の使用率も  
審査対象になる。  
Nゲージ部門には東京、  
神奈川、埼玉など関東を中  
心

心に十五団体・個人が二十  
二点を出品。溪谷や観覧車  
がある風景や未来の駅など  
の力作がそろった。  
青稜中学高校は、学校に  
近い東急大井町駅を百五十  
分の一スケールで再現。実  
際の店舗や通学する青稜生  
の学生服まで細部にこだわ  
り、紙率は95%を達成し  
た。斎藤源輝部長（も）は  
「二カ月間、休日返上で作  
った。旧来の街並みと新し  
い駅ビルのコントラストを  
見てほしい」と話してい  
た。



2017.3.21  
朝日新聞

## 紙で精巧な鉄道ジオラマ 青稜中高が大賞受賞



●大賞を受賞した青稜  
中高の作品 ©青稜中高  
の鉄道自動車部員

中高生らが紙で作った鉄  
道ジオラマの大会「ペーパ  
ージオラマグランプリ20  
17」が20日、品川区立八  
潮児童センターであった。  
中高生に紙での創作活動  
の楽しさを知ってもらおう  
と、同センターが初めて開  
いた。A3サイズ「Nゲ  
ージA3部門」と1畳サイ  
ズの「プラレール1畳部  
門」に、主に首都圏の16の  
個人・団体が26作品を出  
品。当日、同センターに展

示された作品には実際にプ  
ラレールやNゲージの電車  
が走った。  
ペーパージオラマ作家や  
来場者などによる審査の結  
果、プラレール1畳部門で  
は品川区立ゆたか児童セン  
ター鉄道イベントクラブ、  
NゲージA3部門では青稜  
中高（品川区）の鉄道自動  
車部が大賞を受賞した。青  
稜中高の作品は、生徒が通  
学に利用する東急線の大井  
町駅を表現したという。駅  
ビルやホームドア、駅前商  
店街やアーケードなどを精  
巧に紙で作り上げた。部長  
の2年、斎藤源輝さん（17）  
は「部員11人で3カ月ほど  
かけて作った。人の配置な  
どを工夫し、にぎわい感を  
出した」と話した。  
応募作品は21、25日、港  
区東新橋1丁目のトッパン  
フォームビル1階ホワイ  
エで展示される。午前10時  
〜午後5時（最終日は午後  
4時）。入場無料。  
（斎藤純江）